

# 一般質問

(質問した順番で記載します。)



**問** 公約の「コミュニティバスの運用方法を見直し、高齢者や交通弱者の交通手段を確保する」についてであるが、水源

## 1 デマンド交通の調査研究を

交通弱者の方が利用できる制度をつくる

井藤 清議員



コミュニティバスの高津尾ターミナル

の里(限界集落)といわれている地区においては切実な願いであり、大変期待されていると思う。町長はどのような過程で見直しをするのか。また、デマンド交通の調査研究をしようか。

**答** 現在運行している

な見地から、その地域にあった一番良い方法を検討していくことが望ましいと考える。今回提案のデマンド交通、コミュニティバス、路線バス、これらを整合させ、よりよい形にしていきたい。コミュニティバスへの国の補助は三年であるので、是非、その間に本当に住民の方が喜んでいただき、弱者の方が利用できる

## 2 町単独工事における指名入札審査基準の見直しを

地域貢献等で加点評価など工夫したい

**問** 平成20年、21年度町建設工事等一般競争入札参加資格審査申請要項のなかに13の提出書類があるが、町内業者と

きるような制度をつくりていきたいと思っております。(注釈：デマンド交通とは、乗客の要望に

応じて走る路線バス。予約を受け、自宅と目的地をドア・ツー・ドアで結ぶサービス。)

町内業者は法人税、事業税、消費税等の町税増収や雇用面においても多大な貢献をしている。本店が町内になくても、事務所を構えるだけで入札参加できるのでは不公平感がぬぐえない。防災協定、防災訓練等の参加事業所等においては、町独自の審査基準を設けて加味し、指名業者を決定することが大事と考える。

**答** 平成22年度が指名基準を見直す時期になつているので、更に地域貢献度等の内容も分析しながら町内業者には加点評価するなど工夫をしていきたい。今後は適正な施行体制の確保を図るため、また

# 1 待機児童の解消と、交流センターの活用を

待機児童については努力を。  
交流センターは自主運営を基本とする

入口 誠議員



ペーパーカンパニー等の不資格業者の排除を徹底するために、立ち入り調査を実施していくこととする。

**問** 本町は「住みよい町・子育てのしやすい町」を目指している。特に教育については最優先に取り組むべきである。

生まれて死ぬまで自己啓発を続ける「生涯学習」の観点から、今年も全員入所できなかったかわべ保育所における0〜3歳の待機児童について町の方針を伺いたい。

施設の拡充や閉鎖した保育所の復活、やむなく民間保育所に入った場合の保育料の補填等、子育て世帯の環境を整えるために対策を講じなければならぬのではないかと。次に、日高川交流センターについてであるが、利益を生む施設ではなく、町民に親しんでもらえることが存在意義であると考えます。

このことから、主催事



**答** 待機児童等未満

業の入場料に対する補助や教育的事業への児童無料招待、高齢者のバスでの送迎や招待はできないのか。

児保育については努力していきたい。

交流センターについては、自主運営を基本とした催し物を取り入れてゆく。

# 2 獣肉解体処理施設の運営方法と、モンキードッグ事業の導入を

解体施設については共同利用を。  
モンキードッグについては検討する

**問** 農林業従事者にとって有害鳥獣被害は大変深刻な状況であり、一刻の猶予もない。

有害獣の個体数を減らすための観点から、新施設である獣肉解体処理施設の運営について町の方針を聞きたい。

施設で処理した肉は販売でき、捕獲者の利益に

もつながら、有害獣の個体数減少が大いに期待できる。

しかし、そのためには、衛生管理の徹底と品質の均一化、販売の強化が重要である。町が主体となり、本格的な施設として運営していくのが良いと考えるがどうか。

次に、サルを追い払う犬、モンキードッグ事業の導入はできないか。全国で60市町村、200頭以上の犬が活躍している。

訓練所で「飼い主への服従」、「サル以外に危害を加えない」、「深追いせず戻る」ことを訓練され、実績もある。是非検討を願いたい。

**答** 解体処理施設については、既存の捕獲グループが共同利用する方法を目指したい。

モンキードッグ事業は、実用化に向けて研究成果に注目していきたい。

# 3

## 特産物のネット販売や加工販売への取り組みを

### ネット展開に向けて検討する

**問** 本町の過疎化は「住みたくても住めない」、経済的に成り立たないことが第一要因である。町として、あらゆる雇用の機会や収入増の可能性を探り、生活の糧の方法を提示していくのが責務である。

個人では不可能である専門的知識の必要なインターネット販売を町の主導で行うとか、産物をそのまま販売するのではなく、加工することにより雇用の創出を期待できる方を行政サイドで取り組めないか。

また、少量の産物であっても、地域である程度集積し、収集販売するシステムの構築はできないか。

**答** 特産品のネット展開に向け、検討してゆく。



西瀬 又平議員

# 1 選挙公約の構想実現は

## 不退転の決意で取り組む



第二日高川軸と位置づける県道御坊中津線 三津ノ川地内

**問** 日本一の町づくりに構想は何をメインに考えているのか。住民の意識改革をして、日本一の町だと誇れる町にするのか。それともブランド商品等で名実ともに誇れる町にするのか。

**答** 日本一の町づくりに課（現在町長部局は6課）するのは、職務内容がどのようになっているのか。

第二日高川軸構想（県道御坊中津線）の積極的な展望は望めるか。山野、三佐間の未改修区間の早期改修計画は。

**問** 町財政の健全化を進めるため、またトップとしての心意を示すため、

**答** 日本一は数の競争ではない。住民みんなが日本一の町にしたいんだという気持ちを持ち、色んな事に取り組める施策を興すことである。

「すぐやる課」的なものはつくりたい。住民の声が速やかに反映され、責任ある対応ができる、住民目線に立った役場にしたい。

支所も増強し、総合支所的な形にしたい。

県道御坊中津線は、私の第二日高川軸構想に位置付けており、必要不可欠な主要道路である。早期改修に向け、公共事業採択や予算の増額に、不退転の決意で働きかけていきたい。

# 1 町長給与の削減を

## 自分で判断した時は即実行する



堀 辰雄議員

**問** 町財政の健全化を進めるため、またトップとしての心意を示すため、

めにも町長自ら、給与を下げる気持はあるのか。

**答** 私の単なる想いだけではかたづけられない、色んな要素を含んでいる。

今しばらく私の努力を見ていただき、皆さんの指摘、要望があり、自分で判断した時は即実行したい。



## 2 ケーブルTVの有効利用を

住民サービスの観点から  
早急に取り組む

**問** 更なるケーブルTVの有効利用を目指し、例えば死亡通知や会葬御礼、公開討論会など流すべきではないか。

**答** 死亡通知をはじめ出産や結婚などプライバ

シーの点から了解を得られる方にあつては、早急にその方向で検討する。公開討論会については諸問題が残るが、前向きに検討したい。

## 3 役場のあり方、サービスの考え方は

住民目線に立った役場にしたい

**問** 役場のあり方、サービスについての考え方を問う。

**答** 基本的な考え方は、住民の声が速やかに反映され、責任のある対応ができる、そんな住民目線に立った役場にしたということだ。

ワンストップ役場（あちこち振り回される事なく、用事が一ヶ所で済む）の方式や、支所であつても本所と変わらないサービスが受けられる方式など、今あるIT技術を駆使すれば、充分可能だと思つ。



林 睦二議員

## 1 「日本一の町」の姿についての考えは

いい町だと実感できるような町

**問** 日本一の町を目指すという事だが、どのような施策を打つのか。町長の考えている日本一の町の姿とはどうい

たものか。

**答** 「さすが日本一の町と表すだけの事はあるなあ」と思わせることも日本一の条件。

手話や外国語に対応でき、語り部のように歴史や文化、産業にも詳しい役場職員。住民も日本一を意識して頑張る。それでいいと思つ。



道成寺

子供達にはスポーツ、芸術、技術、学力で日本一になるよう支援していく。

過疎化が進む中、全国モデルとなるような過疎化対策で日本一になってみたい。住民全員が本当にいい町だと実感できるような町にしていきたい。

## 2 子どもの医療費の無料化に問題はないか

生活支援、若者の定住、人口増加の観点から重要な施策である

中学校卒業まで医療費の窓口負担を無料化した

合併して厳しい財政状況の中、生活環境・道路網の整備・基幹産業の活性化など様々な課題があるが、こうした事業に優先順位をつけて、できる財政の範囲内で進めていく。

医療費の無料化で病院に通うことが増えるのではないかと懸念しているが、早期に医者にかかることで大きな病も発見できる場合もある。医師会とも相談をしながら解決していく。

本施策は子育て世帯への生活支援、若者定住、人口増加の観点から重要な施策である。



**問** 無料化の財源をどこに求めるのか。  
今後、住民負担に影響は出ないのか。問題点はないのか。  
**答** 民間主導の風力発電等による企業誘致の推進により固定資産税等の増収、行政改革による更なる経費の節減を図ることによって財源を確保する。  
本年度10月1日から

## 1 産品販売所道の駅 拡充計画の構想は

日高へ買い物ツアーに来てもらえるような町づくり、店づくりをしたい



井藤 満人議員

勢の中で町長の計画イメージ、構想について伺いたい。

**答** 計画の具体的時期、計画の場所、規模、予算計画と金額、事業主体、運営方法等について。

**問** 町長所信表明で提起された農業・林業・商工の振興策の中で、お年寄りも参加でき、元気の出る産品販売所道の駅を拡充し、地域産品の販売強化を図るとある。  
具体的な計画は今後検討を深められると思うが、国内、和歌山県、日高川町を取り巻く社会経済情勢は厳しさを増している。このような社会情

勢の中で町長の計画イメージ、構想について伺いたい。  
**答** 誘客対象は地域外、県外を主に考えていることから交通アクセスの整備が重要であり、有田インターまでの4車線化の動向を見たい。  
川辺地区内で、幹線道路、観光地周辺で検討したい。具体的には、道成寺への30万人の観光客を取り込むことが必要。

前項の場所や規模にもよるが、建設に金をかけないで、既存施設の利



用も視野に入りたい。  
生産者組合やJAによる団体等を中心にして、町がバックアップする体制を作りたいと考えている。

# 1 「日本の町」とは

## どうなった時を想定しているのか

いろいろな部門でそれぞれが  
素晴らしいハーモニーを持った時

**問** 6月26日の所信

表明で玉置新町長は「日本一の町をつくっていか」と力強く述べられた。「日本一の町」とはどうなった時を想定しているのか。

また、「安心して暮らせる地域づくり」について、道路崩落事故が近年発生しており、防災の観点からも「日本一の町」を目指すには整備が必要では。

**答** 「備長炭日本一」というのであれば、温泉

に行ったら備長炭風呂・備長炭サウナがあるとか、食事は備長炭で焼いた焼物が出る。また農産物の消毒や土壌改良に木酢液を使う。獣害対策で

解体したイノシシ・シカ

の肉を備長炭の煙でベーコンや燻製にする。微粒化して餌に混ぜ、備長炭紀州烏や備長炭卵を生産し、産品販売所で販売。町のシヨールームと標榜している町長室に備長炭のオブジェ。ここまで来たときに初めて「備長炭日本一」に達すると思う。

一生懸命研究し、取り組んでゆく。実現すれば産業振興にもなり、雇用にもつながると楽しみみである。

本町は他の地域に比べ、道路整備率が良いと思うが、山村部に合った道路政策が必要と思う。

バス・単車・特殊車両を含め117台の公用車



信濃 大典議員

# 2 エコカーの購入

## について

臨時交付金事業を活用して  
購入予定

も今後エコカーに切り替えていくのか。

また、風力・水力・太陽光発電と自然エネルギーで売り出していくとの事だが、建設していく予定はあるのか。

**答** 補正予算で計上している臨時交付金事業を活用して、乗用車7台、軽自動車3台、出来得ればうち1台を電気自動車の購入を予定している。

今後の購入計画は、使用年数、走行距離等を考慮し、13年経年車を中心に補助制度を導入しながら、一定の環境性能を有する車に順次買い替えたい。

古い車両は基本的に廃車にする予定である。今回の車両の買い替えで、年間50万円のガソリン代が節約できると想定している。

風力発電は推進していきたい。水力発電、太陽光発電も研究していきたい。

バス・単車・特殊車両を含め117台の公用車

# 3 役場職員の

## 資格取得の問題

職員は業者の上に立つ  
能力・資格を持って欲しい

**問** 役場職員の資質向上のために、全職員毎年1資格以上の取得を目指すとのことだが、なかなか1回の受験で取得できないこともあるかと思うが、失敗した場合は、罰則があるのか。

また、資格取得が人事評価に反映されるのか。反映するとなると、活性化される半面、職務がおろそかになることも出てくるのではないか。

また、資格取得が人事評価に反映されるのか。反映するとなると、活性化される半面、職務がおろそかになることも出てくるのではないか。



庁舎の公用車庫

**答** 役場の職員は業者の上に立つ能力・資格を持って欲しい。格は是非取得してほしい。サポート体制は既にできている。

**最** 最先端とは言わなくても、時代を先取りした知識や能力を持っていないと10年先を見た設備投資や基盤整備、指導がでない。職務に対する資

## 4 ホタル観賞用遊歩道の設置について

地元民の努力やわが町の顔となる地域は検討

**問** 観光の町を目指すということで、ホタル観賞用遊歩道を玄子地内に設置するとの事だが、今後他の地区にも設置する予定か。

**答** 今回、私の地元、玄子地区を取り上げさせてもらっている。玄子の

ホタル乱舞は地元住民が11年前から行っている河川愛護のための川岸刈に由来している。

昨年は知事表彰も受

取得に失敗すれば罰則は酷だと思つので、努力していただくレベルと考えている。人事評価の参考にはさせていただく。

け、毎日新聞の農業記録賞で県下一の優良賞を受賞。また、NHKの取材記録大賞にもなっている。5年前からホタル祭りの会場で、今年の観賞客数は近隣道路が混雑する賑わいだつた。

他の地区でも、地元住民の努力がなされ、我が町の顔となるような地区は整備を検討したいと思う。

ところ、他のホタルの名所に比べ、整備ができていなく、闇夜では大変危険であることから、地域活性化、経済危機対策の一環として今回予算

策の一環として今回予算

## 1 コミュニティバスの運用の見直しは

多くの方に活用していただける総合交通政策で行く



龍田 安廣議員

川、大滝川、市川まで路線延長したところである。御坊発6時台の増便については、国の認可との関係もあり、簡単にはいかないが、住民の交通の確保と、使い勝手の良さ、そして多くの方に活用していただけるような総合交通政策としていきたい。

**問** 町長は町内の多くの方との対話の中で、本

当に切実な意見を多々聞き、その中でコミュニティバスの運用方法を見直すとのことで、本年6月に一部改正したというが、その内容を問う。

路線バスについては、御坊発午後5時、7時の間に6時台の増便はできないか。

**答** コミュニティバスの運行の見直しを6月に実施した。

変更の内容は、寒川線においては愛徳荘を經由するコースに、川原河発の最終便を猪谷温泉經由に、初湯川線については越方まで路線延長した。また、土生山野線については、中津川、三津ノ

## 2 資格取得は、すべて公金を使うのか

職務と関係のないものについては対象外である

**問** 町職員も色んな方がいるが、資格取得については、義務づけるとある。その内容を問う。

資格というものは、あくまで個人のもの。すべての資格取得に対して公金を使うのであれば問題がある。

役場を辞めても個人資格は有効で、その資格を利用して、町内業者に対し、悪影響を与えないようにしてほしい。

**答** 資格取得は義務付けではなく、鋭意、職員に努力してもらう。基本的には全職員に挑戦していただきたい。職務に必要なものは公金で今もサポートしている。

しかし職務と関係のないものについては公金対象ではない。

役場職員が資格を取って生業とするものではない。あくまで職員としての職務を果たすために必要な資格を取るものである。





# 3 建築物を造る時は町産材を使ってほしい

是非、地元産の木を使う

**問** お年寄りも参加でき、元気が出るサンピン 販売所、道の駅の拡充、地域産品の販売強化とい

うことで、具体的に川辺地区にビニールハウス程度の設置構想も述べているが、サンピンの建物だけではないが、建築物を造る時には、日高川町産の木材を使っていただきたい。

また道成寺の奥の院である、三百瀬地区の紀道神社への観光ルートを含めた、サンピンツアーを構想していただきたい。

**答** ビニールハウスはあくまで一例で、そういう風な形で経費をあまりかけずにやっている県もある。今は検討段階。

木を使うということは大いに賛成である。是非、地元産の木を使って特色のある産品販売所等々にしていきたい。

皆に注目していただくように、紀道神社を含めた観光も考えていく。



山本 喜平議員

# 1 役場支所のあり方について

支所に若手職員を配置したい

し、住民の顔が見える役場にすべきだ。

支所に予算要求だけでなく、決裁権も含め、権限を委譲すべきでは。

窓口業務や本庁への事務連絡だけでなく、産業・建設など地域の産業に責任をもつ事業課も設置すべきでは。

地域審議会を活発化し、地域政策を立案する協議機関に発展させる考えはないのか。

**答** 支所の役割を見直し、「すぐやる課」的なものをつくりたい。その第一歩として、両支所に行動力のある若手職員を配置したい。地域住民からの要請があれば、すぐに現場に駆けつけ話を聞き、やれることはすぐにも実行する支所にしていきたい。

**問** 地域の活性化のためには支所機能の充実・強化は大きな課題だ。地域に密着した仕事は思い切って支所に分散

本庁と支所のあり方、役割についても見直したい。当面は本庁並びに支所においても業務のボリュームや人員配置を再

検討したい。

公約した地域懇談会も取り組むが、地域審議会からは、地区の課題について意見を頂きたい。





## 2 国保の統一について

町民のためになる解決にしたい

**問** 町の国民健康保険の統一に向けて、御坊市外3町国保事務組合の構成市町との協議が開始されたようだが、本町はどのような統一方針で協議にのぞむのか。町単独か。それとも国保事務組合への編入か。

町単独であれば、川上と寒川の診療所の運営についても地域住民の命と健康を守る保健・医療の連携も充実できる。また、診療所の町財政への貢献も大きいと考えるがどうか。

**答** 5月27日、組合事務局が構成市町の担当者を集め、検討会議が開催された。本町から日高川国保の組合加入を前提とした場合の課題として、構成市町への分賦金の按分について、職員の駐在派遣について、保険事業特定健診と特定保健事業について、国保診療所の運営についての4項目について説明した。今後、担当窓口を定めて検討を進めることとなった。

前町長から、「関係市町の合意点を見出し、「ただきたい」との引継ぎを受けている。

新たな姿勢で、過去の認識を再確認して、状況に応じて意見を聞き、町民のためになる国保問題の解決にしたい。

## 3 公の施設の管理見直しについて

休止・民間委託・移転も検討

**問** 町がふるさと振興公社に管理業務を委託し

ている施設の見直しが検討されている。3つの施設だが、そのうち2つは美山地域の施設だ。

この2つの施設は、村づくりが必要とし、整備されたものだ。町として販売や利用が増える工夫をすべきでは。また、産品展示販売所の公衆トイレを早急に修



美山療養温泉館

繕すべきではないのか。

**答** 南山若者センターについては、当面宿泊営業の休止、レストラン営業も休止を含めて検討する。

美山療養温泉館については、その趣旨から高齢者は無料で利用されている。施設の性格や立地条件から公社の運営にはなじみにくい。猪谷川水辺公園の活用もあわせて、管理委託を民間も含め模索したい。

美山ふるさと産品展示販売所については、年間売上額が20年度にはピーク時の30パーセントの2千万円まで落ち込み、出荷者の産品販売所離れ、お客離れ、さらに売上の減少と悪循環に陥っている。

隣接の公衆トイレは地盤沈下で危険な状況だ。駐車スペースが手狭という問題もある。新たな場所への移転も含め検討したい。



熊谷 重美議員

# 1 「日本の町」とは どのような町か

住む人、それぞれの心の中に  
ある

**問** 「日高川町を日本の町に」と、よく言われるが、町長の描かれている「日本の町」とはどんな町なのか。理想とする町があるのなら、どこなのかお答え願いたい。

**答** 私を考える日本は、数字や形で表されるものでなく、住む人の心の中にある。活気があり、住む人の心が豊かになる、そんな町にするために行政が具体的な施策

を施す、それが「日本の町づくり」だと思う。  
役場職員や住民の一人ひとりが日本を意識して頑張る、それでいいと思う。  
過疎対策日本一に備

長炭や道成寺を活かした町に。御坊市、美浜町、漁協、自衛隊、地元建設業組合の方々の協力を得ての日高川クリーン大作戦等、色々模索している。



ヤッホーポイントのある美山レイクブリッジ

# 1 中津村森林組合の裏金問題の 教訓と再出発への支援を

法令遵守を職員に指示、支援も積極的にしていく



原 孝文議員

**問** 多額の簿外資金の存在と使用が発覚し、組合では問題を公表、自ら内部で調査と責任の処理をすすめている。

問題が問題だけに、組合員はじめ地域に与えた影響は大きく、早期の全容解明と納得できる処理が望まれる。

近年、裏金問題は行政官庁や警察内部でも発覚しており、常態化しているといえる。「どこでもやっている。」「普通のこと。」「と、この組合の当事者も言ったそうであるが、遵法意識、公金意識、組織意識の欠落が要因と考える。町はこの事件から何を教訓にしているのか。

この問題で、県はかなり厳しい制裁をしてきている。事業の減少で、職員や作業員の生活への影響が心配される。組合の再出発にあたり、県との折衝など積極的な町の支援が必要でないか。

**答** 町としても大変憂慮している。

この問題を教訓に、法令遵守の徹底をはじめ、管理監督体制の整備を職員に指示したところだ。

県は、6ヶ月の指名停止処分を課してきており、事業の大幅減少が予想されることから、町としてもログベンチの販売など新たな事業開拓を支援している。知事にも「寛大な処置」をお願いしたところだ。





中津村森林組合事務所

## 2 子どもの医療費無料化の考え方は

疑問を感じたところを改善したままで、効果も大きい

問 町長のかかげる『日本一の町づくり』の子ども選挙時の公約でも

あり、実施を大いに歓迎したい。

この制度化の効果として、子育ての負担軽減、若者の定住化、人口増をあげているが、町民にとってはそれ以上に、「誇れるものがひとつできた」という受けとめが大きいのではないか。

この制度は、もともと国が実施すべきものであり、地方自治体が財源を投入して国の制度を補充するには勇気がいる。近隣市町への気かねも出てくると思うがどうか。

答 疑問を感じる問題について率直に改善したままで、『日本一』をめざす施策とは認識していない。

この制度化の効果は、負担軽減や人口増という数字にも表われてくるが、父母の心のゆとりや出産に対する不安の軽減にもつながってくるものと考えており、『住んでよかった』と心から感じ

てもらえる事のひとつになつてほしい。

近隣市町の動向も、制度拡充に前向きになってきており、国や県への圧力にもなると思う。今後、も色んな施策を提言していきたい。

## 3 町財政健全化の具体的方策は

まずは、わかりやすい財政実態を町民に報告する

## 3

問 『必要とムダ』を精査し、金の使い方考え直すことは、今後の町づくりにとって必要不可欠である。

選挙時の公約で、町づくりの根本として財政健全化をあげているが、新町長の策として、具体的にどのような部分、どんな事業を見直しているのか。

色んな公約の実現には多額の資金が必要、収入を増やすには先行投資も必要だ。毎年が今年度のような楽な財政運営ができるものではなく、厳しさの頂点にあるこの数年間は、特に深い検討を要するものと考えている。今後の健全化計画について具体的に伺いたい。

答 ムダを精査し、可能な限りの歳出削減をめざすことは、この先も永遠に続けていかなければならない。現時点では「公債費負担の適正化」が最重要課題だ。

『出るを抑える』は、公債費、人件費、物件費の抑制につながるべく事業を厳選していくこと。『入るを多く』は、補助

金等の獲得はもちろん、税収増につながる施策を展開していくことだ。

まだ具体化しきれていないが、まずは、町民目線でのわかりやすい財政実態を広報で報告し、逐次私の考えを述べていきたい。

